

～「LRRIメルマガ」令和8年（2026年）3月号～

★「役員&会員だより」令和8年3月号をお届けしました

本号は、「土木の存在、事業の意義、さらに技術者の思いをどう発信するか」と題して、常田顧問に執筆いただきました。15年前の“東日本大震災”に思いを馳せ、“教訓は生かされているのか？”や“今我々ができることはなにか？”などを会員の皆様と一緒に改めて考える機会にしたいと思います。本編はHPにも掲載していますので、ご一読のうえ、ご参考ください。なお、引き続き会員の皆様のご投稿をお待ちしております。ご希望の方は、事務局（staff@lrri.or.jp）までお気軽にご一報ください。

★「土木技術資料」（令和8年3月号, Vo.70, No. 3）が届いています

土木技術資料3月号の目次をご案内致します。以下のURLから抄録がご覧になれます。

<https://www.pwrc.or.jp/wnew2603.html#mokuji>

★茨城大学からの受託業務を終了しました（再掲）

茨城大学地球・地域環境共創機構（GLEC）から、『自然災害・沿岸域』分野の気候変動適応策オプションの分類、費用、効果に関する調査委託業務』を受注し、取り組みを進めておりましたが、無事終了して24日に報告書を提出いたしました。本業務は、「環境研究総合推進費 S-24：気候変動適応の社会実装に向けた総合的研究」

（https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/pdf/koubo_r07_04.pdf、研究代表者：国立環境研究所気候変動適応センター センター長：脇岡靖明）の一環です。なお、成果の一部を第34回地球環境シンポジウム（下記参照）に投稿する予定です。

★関連行事のご案内です（再掲）

参加者募集中です（詳細は、HPの「お知らせ」をご覧ください）

◆「第6回技術者講座」

（一財）土木研究センターさまとの共同主催で下記の講座を開講します。

・講座名：「インフラの強靱化に関する最近のトピックス」

・日程：

令和8年5月15日（金）13:30～16:35 及び

令和8年5月22日（金）13:30～16:40 計2日間

・話題：「道路構造物（橋梁、土工、舗装）の技術基準の改定の動向」を含めた4つのトピックスを予定しています。お申し込みをお待ちしています。

・ご案内（URL）：<https://lrri.or.jp/new/7598.html>

◆資格取得支援講座「エルリ塾 Part 4 2026」

他とは異なる方式での講座を開講いたします。HPにアップしています（下記URLを参照）ので、こちらもお申し込みをお待ちしています。

<https://lrri.or.jp/new/7583.html>

★第34回地球環境シンポジウムが茨城大学で開催されます（再掲）

土木学会地球環境委員会では恒例の地球環境シンポジウムを9月9日(水), 9月10日(木), 9月11日(金)に茨城大学で開催いたします。論文発表, 研究報告に多数の応募を頂いており, 地球環境問題に関する幅広い分野からの発表が予定されています。詳細につきましては順次アップデート致します。みなさま, 奮ってご参加ください。

記

1. 主催 : 公益社団法人 土木学会 地球環境委員会

共催 : 国立大学法人 茨城大学

2. 日時 : 2026年9月9日(水), 10日(木), 11日(金)

3. 会場 : 茨城大学日立キャンパス [キャンパスマップ](#)

(土木学会 HP <https://committees.jsce.or.jp/global/node/106> による)